

平成20年度

事業報告書

自 平成20年4月 1日
至 平成21年3月31日

財団法人 健康医学予防協会

1. 調査研究部門

平成 20 年度骨粗鬆症研究事業報告書

<研究名>

成長期の学童、生徒における骨密度と運動習慣およびカルシウム摂取状況との関連性について

(1) 研究目的

二次成長期前後には骨格の発達が急速に進行することが知られているが、この時期の骨量の獲得が不十分な場合には成人での最大骨量が低くなり、それによって中高年での低骨量や骨脆弱性に関与する。将来の骨粗鬆症の予防として成長期の生活習慣の健全化が重要と考えられる。今回の研究は小中学生を対象にした骨密度測定および運動や栄養についての問診調査を行い、成長期の骨密度の実態と関連する因子について検討した。

(2) 対象および研究方法

三小学校の5年生および一中学校の2年生の児童・生徒のうち、文書による説明の後、父兄からの同意が得られた312名を対象とした。その内訳は、小学校158名(男子:88、女子70名)、中学校154名(男子68名、女子86名)である。踵骨超音波法を用いて左踵骨の骨密度を計測し、音響的骨評価値として算出した。問診調査によりカルシウム摂取状況を点数化して37点満点にて評価した。運動状況については問診票により「運動部、スポーツ教室、スポーツクラブなどに入っていますか?」という質問の回答を採用した。問診票の回収率は小学生98.1%、中学生95.9%であった。

(3) 研究結果および考察

カルシウム摂取状況は小中学生男女とも平均で10点前後と大きな違いは認められなかった。

超音波法による骨量測定の結果(音響的骨評価計数値)は、小学校(男子:2.471±0.244、女子:2.409±0.197)、中学校(男子:2.723±0.330、女子:2.692±0.282)という結果であった。

カルシウム摂取を全体平均の1SD以下の不足群と1SD以上の充足群のサブグループに分類して比較したが、小学生、中学生とも有意な差はなく、むしろ平均値は1SD以下の不足群が高い傾向にあり、カルシウム摂取と骨密度との関連性を示すことはできなかった。

運動・スポーツ活動の実施状況については、小学校(男子:77.3%、女子:42.9%)、中学校(男子:73.5%、女子:52.3%)で、男子については小学校・中学校とも70%以上の児童・生徒が、女子については約50%前後の児童・生徒が実施していた。

結果、小学校女子ならびに中学校女子において、運動・スポーツ活動を実施している児童・生徒の方が、していない児童・生徒に比べて、有意に骨量が高いという結果であった。その有意差は、小学校女子($P<0.05$)よりも中学校女子($P<0.01$)で顕著で

あり、運動・スポーツ活動による骨への刺激・負荷が骨量増加に影響を与えている可能性を示唆した。

また男子においても、運動・スポーツ活動の実施の有無による骨量の差は、小学校では大差ではないが、中学校では有意差こそなかったものの、大きな差となって表れた。

(4) まとめ

成長期の骨量増加における運動習慣の有無は重要な影響を持つことが認められた。高い最大骨量の獲得のため適切な運動習慣は必須であり、将来の骨粗鬆症予防に関連することが考えられる。

2. 健康診断・診療部門

急激な景気悪化により戦後最悪の百年に一度の経済危機とも云える状況になっております。

労働人口の減少、団塊世代の大量退職問題等景況感の悪化によるリストラ策の推進で受診者の減少、検査項目の絞込み等少子高齢化の波が続いております。

新潟県の人口は平成9年からすでに減少しており、足元では毎年1万人ずつ減っているといわれています。特に若者の県外流失に歯止めがかからず、減少率は拡大しています。

又、中小企業の景況感は依然として低迷しており、昨年の金融経済危機以降はさらに悪化し懸念されています。2008年度の企業倒産件数は前年度比12%増の1万6千146件で6年ぶりの高水準となりました。

このような状況下で、様々な変化に対応した事業展開を進めてまいりました。

新潟総合検診センターのリニューアルを図り、人間ドックの受け入れの拡大を図ってまいりました。

長岡健康管理センターに於いては、医師、スタッフの充実が図られたので積極的に施設の紹介をして事業の拡大を図ってきました。

又長岡健康管理センターでは、渉外担当者を増員し、積極的な渉外活動を展開し特に中越、上越、魚沼地区に新規先の獲得に努めてきました。

結果売上げは前年対比4.3百万円の微増ではありましたが着実な成果が出ているものがあります。

健診部に於いては、スタッフの採用を積極的に進め、又、機器の充実も進めてまいりました。又、人間ドックに関するアンケートを毎月集計しておりますが、その結果は、良いのが90%、普通が10%、悪いは0%であり、スタッフの対応は良好な評価を得てるものです。

企画管理部では、効率的な巡回検診計画の策定と事故防止に努めてまいりました。

情報管理部は20年度より実施している特定健康診査等を考慮した受診表の作成や健診システムの抜本的な見直しに努め、正確且つより迅速に健診結果が出せるシステム構築に努力してまいりました。

又2年後には新システムの導入を計画しております。

このような活動を日々推進してきた結果、20年度の当財団の業績は極めて好調に推移しました。

特に、施設内健診が好調に推移し、施設健診につきましては売上げが前年比18.5%増の5億8,840万円、人間ドックは同20.7%増の3億1,650万円となり、大幅に増加しました。その結果、今年度の売上高は前年比13.1%増の19億2,445万円、営業利益は同5.8%増の2億5,753万円、経常利益は同10.3%増の2億2,568万円となりました。

(1) 学校集団検診実績

(単位:人)

項 目	計 画	実 績	計 画 費
尿 検 査	16,100	10,334	△ 5,766
貧 血 検 査	1,500	1,417	△ 83
心 電 図 検 査	7,300	5,109	△ 2,191
胸 部 レ ン ト ゲ ン 検 査	6,300	4,151	△ 2,149

(2) 事業所検診実績

(単位:人)

項 目	計 画	実 績	計 画 比
労働安全衛生規則による定期健康診断	96,000	96,378	378
成人病検診(胃部健診を含む)	63,000	77,731	14,731
特殊健診 (有機溶剤、鉛、じん肺、特化物、石綿等)	16,500	15,376	△ 1,124

(3) 業績推移

(単位:千円)

	H17年3月	H18年3月	H19年3月	H20年3月	H21年3月
売 上 高	1,032,585	1,101,816	1,223,741	1,701,910	1,924,459
月 商	86,049	91,818	101,978	141,826	160,372
売 上 総 利 益	424,775	472,756	519,800	723,040	808,161
営 業 利 益	125,405	147,658	177,703	243,312	257,532
経 常 利 益	104,887	127,258	161,335	204,650	225,684

(4) 受診形態別売上

(単位:百万円)

項 目	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	前 年 比 増 加 額	増 加 率
巡 回 健 診	774.1	855.4	908.7	990.4	81.7	8.99%
施 設 健 診	165.3	190.1	496.5	588.4	91.9	18.51%
学 校 健 診	22.6	20.0	16.6	11.8	△ 4.8	△28.92%
人 間 ド ッ ク	128.8	145.0	262.3	316.5	54.2	20.66%
外 来 診 療	11.0	13.2	17.8	17.3	△ 0.5	△ 2.81%
計	1,101.8	1,223.7	1,701.9	1,924.4	222.5	13.07%

(5) 新潟、長岡月別売上実績

(単位:百万円)

新潟	19年度	20年度	長岡	19年度	20年度
4月	124.7	136.2	4月	31.6	31.2
5月	151.1	165.6	5月	34.3	33.7
6月	175.5	196.4	6月	47.5	41.9
7月	146.3	194.1	7月	42.8	43.0
8月	112.8	130.1	8月	29.1	34.8
9月	135.4	157.5	9月	35.4	38.2
10月	164.7	194.2	10月	40.5	42.5
11月	114.8	139.3	11月	32.4	32.7
12月	43.2	56.2	12月	14.3	14.9
1月	34.8	48.6	1月	15.7	17.7
2月	74.1	68.5	2月	31.0	25.8
3月	54.1	63.0	3月	15.8	18.3
合計	1,331.5	1,549.7	合計	370.4	374.7

19年度	売上高	比率
新潟	1,331.5	78.24%
長岡	370.4	21.76%
合計	1,701.9	100.00%

20年度	売上高	比率
新潟	1549.7	80.53%
長岡	374.7	19.47%
合計	1,924.4	100.00%

(6) 月別売上高計画及び実績(全体分)

(単位:百万円)

年月	計画	実績	計画比
20年4月	166.6	167.4	0.8
5月	195.9	199.2	3.3
6月	234.6	238.3	3.7
7月	199.2	237.1	37.9
8月	149.0	164.9	15.9
9月	179.8	195.7	15.9
10月	215.0	236.6	21.6
11月	153.2	172.0	18.8
12月	58.5	71.2	12.7
21年1月	42.4	66.3	23.9
2月	90.0	94.4	4.4
3月	75.8	81.3	5.5
合計	1,760.0	1,924.4	164.4

3. 管理・その他部門

(1) プライバシーマーク

- 20 年 4 月 監査年間計画書作成
教育研修の実施
- 20 年 5 月 個人情報保護委員会兼倫理委員会の開催
- 20 年 10 月 職場集合教育の実施
- 20 年 10 月 全職員習得度テストの実施
- 20 年 11 月 プライバシーマーク付与認定機関による現地審査の実施
- 21 年 1 月 プライバシーマーク更新審査の合格
許諾証(平成 21 年 1 月 11 日～平成 23 年 1 月 10 日)
- 21 年 3 月 監査実施

(2) 機関誌 kenko

- 20 年 9 月 第 11 号発行
特集 予防医学について(第 3 回)
「チリの医療から学ぶこと」
新潟大学教授 山本 正治 先生
協会トピックス 提携機関 (財)東日本労働衛生センター
山形健康管理センターのオープンのお知らせ
- 21 年 3 月 第 12 号発行
特集 予防医学について(第 4 回)
「タバコを通して学ぶ予防医学の基礎と応用」
新潟大学教授 山本 正治 先生
協会トピックス 当協会のホームページがリニューアルしました。
骨粗鬆症に関する情報発表&現代人の健康体力づくりについて
20 年 9 月発行(第 11 号)「骨ほねのお話」
「片脚で立てますか？」 山本 智章 先生
現代人の健康体力づくり「生涯現役の体力づくり」「健康体力チェック」
上月 篤子 先生
- 21 年 3 月号(第 12 号)「骨ほねのお話」
「サプリメントについてのお話」 山本 智章 先生
現代人の健康体力づくり「転ばぬ先の杖」「健脚エクササイズで転倒予防」
上月 篤子 先生

4. 理事会および評議員会(平成20年度開催分)

(1) 定例理事会

開催日 平成20年5月24日

開催場所 新潟市中央区笹口1-1

チサンホテル&コンファレンスセンター新潟4F阿賀野の間

議案

第1号議案 評議員改選承認に関する件

第2号議案 平成19年度事業報告並びに決算報告承認に関する件

上記全議案可決

(2) 定例理事会

開催日 平成21年3月21日

開催場所 新潟市中央区笹口1-1

チサンホテル&コンファレンスセンター新潟4F弥彦の間

議案

第1号議案 平成21年度事業計画並びに収支予算案承認の件

第2号議案 寄附行為一部変更に関する件

上記全議案可決

(3) 定例評議員会

開催日 平成20年5月24日

開催場所 新潟市中央区笹口1-1

チサンホテル&コンファレンスセンター新潟4F阿賀野の間

議案

第1号議案 評議員改選承認に関する件

第2号議案 平成19年度事業報告並びに決算報告承認に関する件

上記全議案可決

(4) 定例評議員会

開催日 平成21年3月21日

開催場所 新潟市中央区笹口1-1

チサンホテル&コンファレンスセンター新潟4F弥彦の間

議案

第1号議案 平成21年度事業計画並びに収支予算案承認の件

第2号議案 寄附行為一部変更に関する件

上記全議案可決